

厚木基地で総合学習 横浜市立菅田中学校

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 縣1陸尉）は、9月26日（金）、厚木基地において菅田中学校（2年生6名）の「総合的な学習の時間」を支援した。

参加者は、厚木基地の概要説明を受けた後、P-13Cや管制塔の見学を行った。体験喫食後は、救命胴衣の試着や救命浮舟（救命ボート）に乗るなどの体験と第4航空群司令との懇談が行われた。参加した生徒は、「自衛隊にも様々なコースがあることを知りました」と、感想を語っていた。

横浜出張所は、「今後も、学校と密接に連携し、自衛隊に対する理解を深めていただき募集成果に繋がっていききたい」としている。



体験喫食



救命浮舟（救命ボート）

「就職活動本気！将来を見つめる」 首都圏合同企業説明会

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充一海佐）は、9月30日（火）、10月1日（水）の2日間にわたり、民間委託企業が主催し東部方面総監部が担任する、首都圏任期制隊員合同企業説明会を支援した。これは、平成26年度及び27年度任期満了退職予定隊員に対し企業との面談の機会を与えるもので、東京流通センター（東京都大田区）において陸・海・空合わせて約1,400名の隊員と、約380社の企業の参加を得て実施された。当日は開始前から多くの隊員が詰め掛け、控え室では気合の入った表情で企業ブースを回る順番をチェックする姿が見受けられた。開始直前の入口付近は隊員で溢れかえり、午前10時30分、いよいよ会場のドアが開かれると、お目当ての企業ブースに向けて一直線に駆け寄り、会場内の企業ブースは見る見るうちに隊員達の波にのみ込まれていった。特に、警備関連企業及びIT関連企業のブースは二重三重の輪ができるなど人気の高さが伺え、真剣な熱い眼差しで説明に聞き入る隊員達を前に、思わず立ち上がった熱弁を振るう企業担当者も見られるなど、大盛況のうちに2日間の日程を終えた。

神奈川地本では、「今後とも首都圏合同企業説明会を積極的に支援するとともに、雇用情勢の現状を把握して、隊員の希望に応じたより良い企業の開拓に努めていきたい」としている。



鶴見川クリーンキャンペーンに参加

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 縣1陸尉）は、10月8日（水）、「第6回鶴見川クリーンキャンペーン」に参加した。

この活動は、鶴見川の桜並木を管理している鶴見川桜・緑化実行委員会が主催し、地域住民が中心となって鶴見川流域の清掃を行っているもので、横浜出張所も地域への感謝の気持ちを含めて、この活動に参加した。所員は迷彩服に着替え、枯草の伐採や放置自転車の回収に汗を流していた。

横浜出張所は、「今後も、地域社会と密接に連携し、自衛隊に対する理解と協力を得るとともに、防衛基盤の拡充および募集活動に繋がっていききたい」としている。



枯草をたくさん刈りました



回収した枯草の山



放置自転車も回収